平成２７年５月１日

お客様各位

デンヨー株式会社
品質管理部門

発電機の軽負荷連続運転によるカーボン類の堆積について

平素はデンヨー製品に格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。
取扱説明書の「定期点検の整備」にも記載しておりますが、ディーゼルエンジン発電機を軽負荷や無負荷で長時間運転を行なうと、排気管やマフラーなどの排気系に未燃焼燃料やカーボンが溜まり、そのまま継続してご使用になられると故障の原因となるばかりではなく、火災の原因となる場合があります。

定期的に高負荷（定格）をかけ、排気系内の未燃焼燃料を除去していただきますようお願い致します。この際、一気に高負荷をかけると内部の未燃焼分が急激に燃焼し、排気系内が高温になる恐れがあります。５０％程度の負荷をかけると最初は濃い煙が出ますが、その煙が薄くなるのを待って徐々に負荷を上げるようにし、最後は高負荷（定格）をかけ排気色が無色になるまで運転して下さい。

また、負荷をかける際は、排気口から火花が出ることがありますので、周囲に可燃物がないことを確認して、万が一に備えて消火設備を準備して下さい。

【軽負荷の目安及び未燃焼物堆積時】
軽負荷のおおよその目安は、発電機の定格電流値の30%以下です。未燃焼物堆積は、軽負荷運転を長時間連続することにより発生しやすくなります。
また、マフラーから常に異常な白煙や未燃分などが排出される状態や形跡がある場合は、マフラー及びエンジン内部に多量の未燃焼物堆積やエンジンの不調が考えられます。高負荷運転による未燃物の焼却で改善されない場合は、最寄の営業所又はサービス工場にご相談するなど早めの対応をお願いいたします。

【お問合せ先】
・お客様相談窓口：0120-935-711 受付時間（土日祭日を除く）9:00～17:00
・最寄の営業所又はサービス工場は、弊社ホームページをご確認下さい。